



くろうろし じやくぼ たん からくさ ちんきん しきろう
黒漆孔雀牡丹唐草沈金食籠(写真2)



くろうろし ぶ どうり す ら でんはく え ばに
黒漆葡萄栗鼠螺鈿箔絵箱



しゅうろし か ちやうみつだ え ぼん
朱漆花鳥密陀絵盆



しろ かつた さんすいろうかくしんぶつ
白密陀山水楼閣人物
あつた え ぼん
密陀絵箔絵四方盆



くろうろし し ば おんごう か くん ら でんがけばん
黒漆司馬温公家訓螺鈿掛板



くろうろし さんすいろう かく ら でんちやうおうしやく
黒漆山水楼閣螺鈿中央卓
(写真1)



しゅう ぐろうろし うれんりゅうちんきん ら でんしやく
朱黒漆雲龍沈金螺鈿卓



くろうろし さんすいじんぶつ ら でん はつ かくしきろう
黒漆山水人物螺鈿八角食籠



しゅうろし たけとらねんしゅう ちんきん ら でん ざ へい
朱漆竹虎連珠沈金螺鈿座屏(写真3)



▲文化財指定書交付式

浦添市指定有形文化財が増えました

今回、市美術館の収蔵品から新たに9点が浦添市指定有形文化財に指定されました。10月8日に市美術館で文化財指定書交付式が行われ、西原教育長から前田美術館長へ文化財指定書が手渡されました。収蔵品が文化財に指定されるのは19年ぶりです。

新たに指定された作品には、琉球王国時代に部屋飾りや本土への献上品として使用された台「黒漆山水楼閣螺鈿中央卓」(写真1)や、全体に細かい金色の線が彫られた食籠「黒漆孔雀牡丹唐草沈金食籠」(写真2)、ガラス玉を編んで竹と虎の図を表わした衝立「朱漆竹虎連珠沈金螺鈿座屏」(写真3)など、歴史的に貴重な作品や琉球漆器の特徴をもつ作品ばかりです。

指定文化財を見に行こう！

今回の指定を記念して、美術館では平成21年度後期常設展示で紹介コーナーを設け、新たに有形文化財に指定された9点の中から6点の作品をお披露目します。指定文化財をまとめて見られる機会はなかなかありません。この機会にぜひ美術館へお越しください！

展示期間：平成21年10月9日(金)～平成22年4月11日(日)予定
開館時間：午前9時半～午後5時(入館午後4時半まで)・金曜日は午後7時まで(入館午後6時半まで)
休館日：毎週月曜日(月曜日が公休日の場合は開館)12月28日～1月4日
観覧料：一般150(120)円・大学生100(80)円・高校生以下無料 ()は20名以上の団体料金

問い合わせ
浦添市美術館
☎879-3219



新百歳・カジマヤー おめでとうございます！

今年、浦添市内で新百歳を迎えた方は19人、カジマヤー(97歳)を迎えた方は33人でした。

9月21日の敬老の日に合わせて市長は、新百歳を迎えた喜納ゴセイさん、新里ふゆさん、カジマヤーを迎えた當山秀さん、瑞慶山良宜さん、大城文次さんの5人を訪問し、祝状や記念品を贈呈し、長寿を祝いました。

また、カジマヤーを迎えた當山さん、瑞慶山さん、大城さんには市長からお祝いの琉歌が贈られました。



新百歳

しんざと
新里ふゆさん
(港川在)

生け花の免許を持ち、婦人会で教えた経験もあります。長生きの秘訣は、かしこまらずに生きることです。



▲新里さんは、祝状と記念品を手渡されると、素敵なお笑顔で「ありがとうございます」とお礼を述べました。



新百歳

きな
喜納ゴセイさん
(前田在)

人と話すことが大好きです。若い頃は農業をしていて、体が丈夫なのが自慢です。



▲握手をする際に「100歳にも関わらず握力もしっかりしている」という市長の言葉に、とても喜んでいました。

誰が さじきたら
九十七才ぬ 御祝
子孫揃りじゅりてい
踊る 嬉しや
平成二十一年九月二十一日
浦添市長 儀間光男
(意味) さすけられた命は今に生かされ、生きる命である。長寿を保ち、子孫と共に祝い踊る嬉しさよ。



カジマヤー (97歳)

おおしろふん じ
大城文次さん
(屋富祖在)

以前は中学校の校長を務めていました。買い物や庭いじりが日課です。



▲大城さんは市長が贈った琉歌を興味深そうに繰り返し読んでいました。



カジマヤー (97歳)

ずけ やまりようぎ
瑞慶山良宜さん
(経塚在)

人と話すことが好きです。料理の経験があり、たまに自分で料理をしています。



▲瑞慶山さんは「日本一の長寿になりたいので、見守っててください」と市長に抱負を語っていました。



カジマヤー (97歳)

とうやまひで
當山秀さん
(大平在)

食べ物好き嫌いせず何でも食べます。手芸やゲートボールが趣味です。



▲當山さんは自分の顔写真が入った記念品の額を見て、とても嬉しそうにしていました。